

段ボールコンポストで生ごみ リサイクルを続けましょう！

日野市オリジナルの段ボールコンポストは、生ごみを減量でき、堆肥ができるだけでなく、竹パウダーを使うので、里山保全にも寄与しています。

昨年9月の頒布開始以来、市内で340個以上のお申し込みがありました。

そこで、今回、生ごみリサイクルサポーターの皆さんの協力を得ながら、購入された方々に、その後の様子をお聞きしたところ、次のようなことがわかりました。お話しを伺えたのは、132名の方でした。



段ボールコンポスト（組み立てた段ボール、竹パウダー、虫除け用の布カバーの3点セット）1,250円（市補助金適用後の価格）

促進するものを加えて出た熱で死滅させることができます。天ぷらなど揚げ物をした後の要らない油をコップ2杯程度、段ボールに触れないように入れて、かき混ぜると温度が上がります、2日くらいで小バエの発生がなくなります。米ぬかも有効です。また、中味を新聞紙などの上に広げ、日光に当てて乾燥させるという方法もあります。

上手な発酵は適度な水分量

うまく発酵しないという方の多くが、水分が足りないためでした。

段ボールコンポストは、段ボールが持つ通気性という特長により、水分が不足気味になりがちです（このため、水切りせずに生ごみ投入が可能）。うまく発酵させるには、水分率60%が最適といわれています。中味を握り、開いたときに、手の形が残る程度が水分60%の目安です。



中身を握って開いたとき、手の形が残る程度が水分60%の目安です。

ペット感覚で段ボールコンポストを使用中

このうち、うまく利用して、続けているという方が、70名（53%）と、半分以上いらっしゃいました。

この中には、毎日、1時間くらい観察しながらかき回しているという方や、虫や臭いも出るけど楽しくやっているという方も。微生物の力で生ごみがどんどん分解されるので、その微生物を、ペットを飼っているような感覚で楽しみながら続けているようでした。

また、洗濯ネットに竹パウダーと生ごみを入れて、中味が直接段ボールに触れないようにして、段ボールを傷めずに、上手にやっているという方も。かき混ぜも洗濯ネットごとひっくり返せば、よく混ぜられます。他にも、出る生ごみが多いということで、2個段ボールコンポストを用意して、交互に生ごみを投入しているという工夫をされている方もいました。

一方、もう続けるのを断念、休止してしまったという方が、62名（47%）

悩み解決の場、交流サロンを開催しています

生ごみリサイクルサポーター連絡会では、「虫がわいて困る」、「うまく発酵しない」など、段ボールコンポストを使用する上での悩みや困ったことを解決する場として、交流サロンを定期的に開催しています。偶数月の第4金曜日の午後1時30分から、会場は「ひの市民活動支援センター（日野1369の27モノレール甲州街道駅から徒歩5分）」です。



交流サロンでは、生ごみ堆肥でできた野菜や段ボールコンポストを囲み、皆、熱心に質問をしています。

いらっしゃいました。

その理由をお聴きしたところ、一番多い理由が、面倒くさい、多忙というもので、16名（26%）でした。次に、虫がわいたから（9名、15%）、うまく発酵しないから（7名、11%）、別の生ごみリサイクルの方法（土に埋める、庭の据置型のコンポストに入れる、コミュニティガーデンの生ごみ回収グループに参加する）に移行したから（8名、13%）というものでした。

小バエが発生したら

虫がわくからという方は、小バエの発生を気にしているようでした。虫除けカバーをきちんとしていたのに、小バエが発生したという声はよく聞きます。生ごみを台所に置きっぱなしにした時に小バエが卵を産み付け、それが中で羽化して発生する事が主な原因のようです。生ごみが出たら、できるだけ早く段ボールコンポストに入れてかき混ぜるようお願いいたします。小バエが発生したとしても、発酵を

自分のやり方で自信のない方、これから使ってみたい方も気軽に参加ください。サポーターが使用している段ボールコンポストと比べたり、他の人と話したりすることが、解決の早道です。うまくやっている方も自分の工夫を披露しに来ていただけるとありがたいです。

使用を休止した方も、初めての方も段ボールコンポストを始めてみませんか。

いい土を作りましょう



段ボールコンポストの申込先

第2すずかけの家 日野市神明1-11-12
TEL: 080-3175-1144 FAX: 042-591-7569
E-mail: info@suzukakenokai.or.jp

※ご注文から休業日を除いた10日以内に自宅にお届け（土・日・祝日休業） 申込時間9:30~17:00

